

2012年8月31日

容器包装の3Rを進める全国ネットワーク
羽賀 育子 様

キッコーマン株式会社
お客様相談センター

拝啓 残暑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は弊社一升瓶入りしょうゆ、西日本地区終売に関しまして、お問合せいただき、誠にありがとうございました。

お問い合わせ内容に関しまして、弊社の現状及び方針について、下記のとおりご報告させていただきます。

なにとぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

しょうゆ全体の需要を取り巻く環境は、年々厳しさを増しています。なかでもお客様の志向の変化などにより、一升瓶の販売数量は、大きく減少しております。しょうゆ業界全体の一升瓶の出荷数量をみても、2001年度が約10万KLであったのに対し、2010年度は約3.8万KLと、10年間で約1/3に減少しています。

弊社におきましても、市場の推移と同様に販売数量が減少し、一升瓶の販売構成比も直近で1.5%となり、工場の稼働率も大きく落ち込んでおりました。

西日本の生産拠点である兵庫県の高砂工場の一升瓶詰めラインは、老朽化が進んでいたところに、2011年9月におきました台風12号による水害の影響で使用不能となりました。

需要が大きく減少していくなか、設備更新の投資に見合う販売数量の確保も見込めず、西日本エリアの一升瓶の販売をやむなく中止せざるを得ないとの判断に至りました。

東日本におきましては、今後も販売を継続してまいります。しかしながら、設備の老朽化は東日本の生産拠点も同様であり、設備更新の必要が生じた場合には、その時点で諸状況を考慮し、判断いたします。

以上